

**2026 年度 市町村統括保健師研修会**  
～市町村の統括保健師大集合！活き活きと保健活動を続けるために～  
**募集要項**

## 1. 目的

2040 年を見据えた保健師活動を推進するにあたり、市町村統括保健師としての実践力の強化を図るとともに、将来に渡る市町村統括保健師のネットワーク構築を推進する。

## 2. 目標

### 〈一般目標〉

市町村の統括保健師として、所属自治体の健康水準の向上に向けて、専門的側面から組織横断的に調整・支援を行い、効果的・効率的な保健活動を推進するための能力を養う。

### 〈到達目標〉

- 1) 2040 年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能を他者に説明し、実践できる。
- 2) 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に計画し、実践できる。
- 3) 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義について他者に説明できる。

## 3. 内容

「市町村統括保健師研修プログラム」のとおり【別紙】

本プログラムは、「事前課題」、集合による研修会（以下「集合研修」）、「事後課題」で構成しています。「事後課題」提出後には、フォローアップを行います。

## 4. 日程

### ●集合研修

2026 年 9 月 5 日（土）～9 月 6 日（日）（1泊2日）※宿泊必須

〔 1 日目：13：00～20：30 2 日目： 9：00～15：30 〕

### ●フォローアップ

2027 年 2 月 6 日（土）9:30～11:50 ※オンライン

## 5. 集合研修の会場・宿泊ホテル

「TKP ガーデンシティ浜松町」（ベイサイドホテル アジュール竹芝）

〒105-0022 東京都港区海岸 1-11-2 Tel：03-3437-5566

[https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-hamamatsucho/?ctid=ad\\_msa\\_kk0101](https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-hamamatsucho/?ctid=ad_msa_kk0101)

## 6. 受講資格（対象者）

以下の1)、2) に全て該当する者

- 1) 市区町村の統括保健師、又は統括的立場にある保健師
- 2) 事前課題・事後課題・フォローアップを含む本研修のすべてのプログラムを受講できる者

## 7. 定員

60名（先着順）

## 8. 受講申込期間

2026年5月18日（月）～6月27日（土）※延長しました

## 9. 受講申込方法

受講専用フォーム（URLもしくはQRコード）より申し込みください。

【受講専用フォーム（URL）】

<https://forms.office.com/r/fafYqMwXA1>

【受講専用フォーム（QRコード）】



## 10. 受講決定

- 1) 受講資格の確認を行い、受講の可否を決定します。

なお、応募多数の場合は、都道府県ごとの申込に偏りがないよう受講者数を調整する場合があります。

- 2) 2026年7月3日（金）までに「受講決定通知」をメールにてお送りします。

## 11. 事前課題について

受講にあたり、以下ご対応ください。

内容	提出方法	提出期限
自己評価シート①事前学習前 ※事前課題に取り組む前に自己評価を行ってください	受講決定通知の際にお知らせする【フォーム】に入力	7月24日(金)
基本情報シート	受講決定通知の際にお知らせする指定のメールアドレスにファイル添付にて提出 ※集合研修当日に一部印刷して持参ください(本人用)	8月18日(火)
【様式1】組織見える化シート		
【様式2】統括保健師 課題焦点化シート		
※【様式2】を参照の上、統括保健師の役割・機能のうち本研修で取り組みたいものを1つ考えておいてください。受講決定通知の際にお知らせする【フォーム】にてご意向を伺います。		

※集合研修後、事後課題の提出を頂きます。その後、フォローアップを行います。

詳細は【別紙】：プログラムを参照ください。

## 12. 受講証明書

集合研修の全日程を受講された方には、「**研修会受講証明書**」を発行いたします。

## 13. 受講経費

参加費：25,000円(税込)

- 1) 参加費は、ホテル宿泊費(9/5)、飲食費(9/5:夕食、9/6:朝・昼食)です。パック料金のため内訳は提示出来かねます。※参考：本会規定宿泊費(都内)；19,000円
- 2) 受講決定通知の際に本会指定の振込口座をご連絡いたしますので、期日までにお振込みください。
- 3) 参加費の領収書(参加者名宛)を、集合研修会場にてお渡しします。
- 4) 参加に掛かる旅費、参加費に含まれない費用(ホテル内の冷蔵庫や電話代等)はご自身でご負担ください。前泊(9/4)や後泊(9/6)が必要な場合は各自手配ください。

## 14. 申込のキャンセル

やむを得ず受講申込を取り消される場合には以下の連絡先にメールでお知らせください。

取消しに際し、宿泊先ホテル側のキャンセルポリシーに基づく所定のキャンセル料が発生することをあらかじめご了承ください。

### 1) 連絡先

公益社団法人日本看護協会 健康政策部 保健福祉制度課

Mail: hokenseido@nurse.or.jp

### 2) キャンセル料

受講日の60日前(7/7)から発生します。詳細は以下の通りです。

60 日前～31 日前まで：10%、30 日～15 日前まで：50%、

14 日～2 日前まで：80%、前日・当日：100%

なお、返金の場合には手数料を差し引いた額を指定の口座にお振込みいたします。

#### **15. 個人情報の取り扱い**

取得する個人情報について、個人情報の保護に関する法律を遵守するとともに、以下のとおり個人情報保護方針を定めて遵守します。

<https://www.nurse.or.jp/privacy/index.html>

#### **16. その他**

本研修の公開・配信、受講者以外への資料の提供は行いません。

#### **17. 問い合わせ先**

公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 保健福祉制度課

Mail: [hokenseido@nurse.or.jp](mailto:hokenseido@nurse.or.jp)

令和 8 年度厚生労働省保健指導支援事業  
市町村統括保健師研修プログラム

■「事前課題」に取り組む前

以下 2 点について、受講決定通知の際にお知らせします指定のフォームに入力ください。

- 「自己評価シート ①事前学習前」
- 統括保健師の役割・機能のうち本研修で取り組みたいと思われるもの 1 つ選択(当日のグループ分けの参考にさせていただきます)

■事前課題

ねらい	学習方法・内容等	実施時期 提出時期等
<p>統括保健師の役割・機能を発揮するうえで必須となる知識を習得する。</p> <p>2040 年を見据えて求められている保健師の保健活動のあり方を理解する。</p>	<p>1. 文献学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健対策の推進に関する基本的な指針. 2025. 3. 7</li> <li>・地域における保健師の保健活動について. 2013. 4. 19</li> <li>・日本看護協会：「保健師活動指針活用ガイド」. 2014. 3</li> <li>・厚生労働省委託：「令和 5 年度地域保健対策・保健師活動ワーキンググループ報告書」 2024. 3. 29</li> <li>・日本公衆衛生協会：「地方公共団体における効率的・効果的な保健活動の展開および計画的な保健師の育成・確保について」(分担事業者：曾根 智史) 総合報告. 2019. 3</li> <li>・日本看護協会出版会：看護管理学習テキスト第 3 版 第 4 巻「組織管理論」 2025 版. P30～36, P71～99</li> </ul> <p>※P71～99 に記載の SWOT 分析は演習で使用します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省：「新たな地域医療構想等に関する検討会」とりまとめ. 2024. 12. 18</li> </ul> <p><a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47465.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47465.html</a></p> <p>2. 厚生労働省：「2040 年を見据えた保健師活動のあり方に関するとりまとめ」 令和 8 年度</p> <p><a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000119166_00003.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000119166_00003.html</a></p> <p>3. 厚生労働省：自治体保健師のマネジメント能力向上のための e ラーニング</p> <p><a href="https://www.mhlw.go.jp/hokenshiportal/elearning/index.html">https://www.mhlw.go.jp/hokenshiportal/elearning/index.html</a></p> <p>必須受講：コース 5. 人材確保・人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5-1. 人材確保・人材育成について</li> <li>5-2. 戦略的な人材確保について</li> </ul> <p>※その他コースは推奨受講</p>	<p>【実施時期】 決定通知後～集合研修まで</p> <p>※提出不要</p>
<p>所属自治体の組織構造を可視化し、保健師の配置状況や統括保健師の所掌範囲、意思決定等の現状を確認する。</p>	<p>4. 「基本情報シート」、「【様式 1】組織見える化シート」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織構造、所掌範囲</li> <li>・保健師の配置状況、施策の意思決定ルート等の現状等</li> <li>・所属自治体の統括保健師の配置(位置づけ)</li> </ul> <p>5. 「【様式 2】統括保健師 課題焦点化シート」</p>	<p>【実施時期】 決定通知後～集合研修まで</p> <p>【提出時期等】 8 月 18 日(火)までに指定のメールアドレスにファイル添付にて提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報シート</li> <li>・様式 1</li> <li>・様式 2</li> </ul> <p>※一部印刷して持参ください(本人用)</p>

## ■集合研修

【2026年9月5日（土）：1日目】

●12時45分：研修会場 集合

●12時50分：オリエンテーション・演習講師紹介

時間	テーマ・学習方法	到達目標（ねらい）	講師
13:00～13:10	開会の挨拶 ～2040年に向けたこれからの保健師活動を牽引する市町村統括保健師の役割・機能と期待～		日本看護協会 副会長 勝又 浜子
13:10～13:50	【講義】 2040年を見据えた地域保健施策の動向と保健師活動	統括保健師として保健師関連の国の動向を理解する。	厚生労働省健康・生活衛生局健康課 保健指導室長 後藤 友美
13:50～14:30	【講義】 自治体の組織運営と統括保健師に求められる調整力	行政の組織運営において、統括保健師に求められる調整力への理解を深める。	八王子市福祉部 部長 菅野 匡彦
14:30～14:45	休憩		
14:45～17:00	【演習Ⅰ】（グループワーク） ●統括保健師としての現状と課題 ●統括保健師として取り組むべき課題の明確化 ・自己紹介 ・自治体の組織体制（様式1：組織見える化シート） ・現状の確認 ・現状・課題の分析（SWOT分析） ・取り組む課題の明確化（様式2：統括保健師_課題焦点化シート）	行政組織や保健活動の現状を踏まえ、健康課題を組織的に解決するための統括保健師の役割・機能を理解するため、現状の活動を振り返る。 統括保健師として取り組まなければならないことを焦点化（言語化）する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実  演習講師
17:00～17:45	1日目のまとめ 2日目に向けたオリエンテーション		日本看護協会 常任理事 松本 珠実
17:45～18:15	休憩		
18:15～18:45	夕食		
18:45～20:30	【ワールドカフェ】 2040年を見据え、統括保健師としての取り組みのヒントを得よう ・2040年における保健師活動のイメージ化 ・そのために必要な条件は何か ・統括保健師としてどのように取り組むか	2040年を見据えた保健活動を想定し、必要な取組についての理解を深め、意見交換を通じて仲間の取組から示唆を得て、自らの統括保健師としての取り組みのあり方について考える。 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークを構築する。	〈参加者〉 受講者 演習講師

## 【2026年9月6日（日）：2日目】

●8:30～9:00 までは自己学習等のお時間として会場が利用できます

時間	テーマ・学習方法	到達目標（ねらい）	講師
9:00～9:45	【講義】 自治体の政策形成を担う保健師の役割	統括保健師に求められる政策形成能力と方策について理解する。	同志社大学 名誉教授 真山 達志
9:45～10:05	【実践報告】 人材育成に関する組織上の課題を踏まえた、保健師の計画的な人材育成やキャリア形成の推進	市町村における人材育成・確保のあり方、人材の配置、現任教育における統括保健師の役割について理解を深める。	滋賀県守山市 健康福祉部 専門員 小川 靖子
10:05～10:25	【実践報告】 統括保健師による組織横断的な保健活動の取組・調整の実際	統括保健師の組織横断的な取組みや調整方法等のイメージを深める。	栃木県小山市 保健福祉部 部長兼統括保健師 福原 円
10:25～10:40	休憩		
10:40～11:00	【演習Ⅱ】（導入） ●統括保健師としての実践に向けた方策 ・演習Ⅱの説明・進め方 ・SWOT：クロス分析の活用	統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
11:00～11:30	【演習Ⅱ】（個人ワーク） ・「様式3：統括保健師_行動計画シート」の作成		
11:30～12:15	昼食		
12:15～14:50	【演習Ⅱ】（グループワーク） ・統括保健師の行動目標・計画の立案 （様式3：統括保健師行動計画シート）	統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。	演習講師
14:50～15:20	研修総括（全体会） 事後課題	研修での気づきや学びを共有・統合する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
15:20～15:30	事務連絡（プログラム評価に関するアンケート） 閉会		

※集合研修終了後：自己評価シート②（集合研修当日）を記載して頂きます。

## ■事後課題

ねらい	学習方法・内容等	提出
統括保健師としての役割・機能を発揮できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【様式3】統括保健師 行動計画シート</li> <li>①統括保健師としての自組織での行動計画を完成する</li> <li>②自組織での行動計画に基づき実施した内容と成果、促進要因を記載する。</li> </ul>	<b>【提出時期等】</b> 2027年1月21日(木)～28日(木)の期間に指定のメールアドレスにファイル添付にて提出
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己評価シート③（研修後：1月）</li> </ul>	<b>【様式3】</b> 提出後にお知らせする指定のフォームに入力ください。

※提出されたシート、自己評価シートは本研修プログラムの評価として活用いたします。

※ 事後課題については以下を推奨いたします。

- ・ 自組織の上長に提出し、評価・フィードバックを得る。
- ・ 管轄保健所の市町村担当の保健師または都道府県庁の統括保健師のいずれかに研修成果を情報共有する。

## ■フォローアップ

### 【2027年2月6日(土)】オンライン開催

●9時00分：オンラインへの入室開始

※9時20分までに入室してください

時間	テーマ・学習方法	講師
9:30	開会	
9:30～10:00	保健師活動の動向と研修会の振り返り ・保健師活動指針 ・事後課題の取組 ・受講者の自己評価シートの結果 等	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
10:00～11:10	グループワーク ※事後課題を基に、行動計画と実際に取組んだ内容をグループ内で共有し、互いにフィードバックを行う	演習講師
11:10～11:30	全体発表 ※3～4グループの代表よりグループワーク内での話し合った内容について発表する	
11:30～11:40	総括	演習講師
11:40～11:50	閉会	

## 【本研修プログラムの各様式】

- 基本情報シート (P. 10～11)
- 様式 1～3 (P. 12～14)
- 自己評価シート①事前学習前、②集合研修当日、  
③研修後：1月 (P. 15～18)

## 基本情報シート

記入日：令和 年 月 日 参加 ID：

所 属： 氏名：

### 1. 概 要

	市町村	データ年次	備考
人口	人	R. .	
世帯数	世帯	R. .	
面積	km <sup>2</sup>	R. .	
高齢者人口	人	R. .	
高齢化率	%	R. .	
産業別 就業人口	第1次産業 人 ( %) 第2次産業 人 ( %) 第3次産業 人 ( %)	R. .	
地域包括 支援センター	( ) か所 【内訳】直営 ( ) か所 委託 ( ) か所		
学校	小学校 校 中学校 校 高校 校	R. .	
統計	出生数： 人 出生率千対： 合計特殊出生率： 死亡数：	R. .	

### 2. 市町村の健康課題・特徴等

(裏面へ)

3. 特に力を入れている保健活動や、よい取り組み等

--

4. 自分自身が統括的役割を果たす上で取り組んだこと

--

【様式1】「組織見える化シート」

記入日: 年 月 日

参加ID:

所属:  
(※市町村名も記入)

氏名:

保健師数(常勤): ○○人(2025年○月)※産休・育休中を含む  
(非常勤): ○○人  
保健師の配置部所数: ○部、○課、○係  
自身が関与している部所数: ○部、○課、○係

○統括保健師の役割について事務分掌への明記の有無: 有・無  
(明記されている場合、内容を記入)

<記入方法>

- 保健師全員の配置状況を確認する。
  - ・保健師の配属部所すべてを図におとす。常勤保健師配属部所に★印と人数を記入。非常勤保健師配属部所に☆印と人数を記入。
  - ・産休・育休中の保健師数は括弧の中に人数を記入。
  - ・統括保健師に◎印、次期統括保健師に○印、保健師が管理職として配置されている部所には◇印と職位を記入。
- 保健活動の政策・施策化、事業化の決定ルート、協議の場を太い線で示す。
- 統括保健師として「伝達・協議」、「助言や意見具申」、「政策・施策化、事業化の決定ルートにのせるための調整」、「決裁や権限、業務の采配」を行っているところを二重線の矢印(→)で示す。
- 統括保健師としての所掌範囲(自分が関わることができている範囲)を丸で囲む。
- 事実関係を客観的に見て、今後、統括保健師として積極的に働きかけていきたいところを点線で囲む。または、点線の矢印で示す。

記入例

【様式1】「組織見える化シート」

記入日: 年 月 日

参加ID:

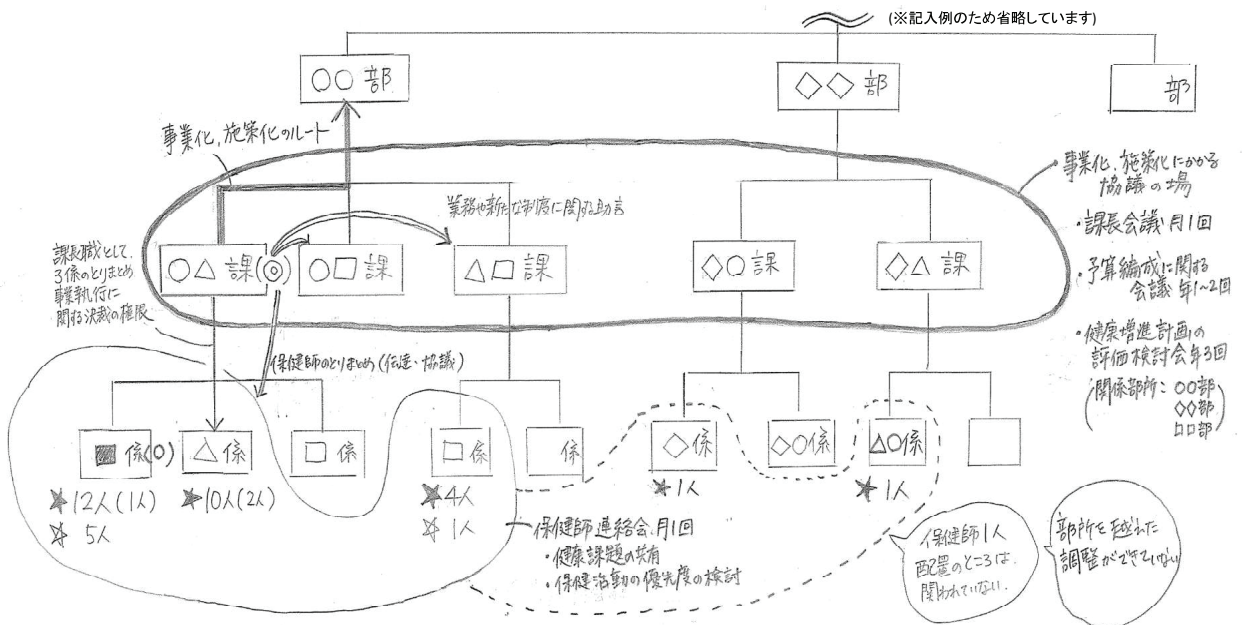
※受講決定通知にて確認し記入して下さい。

所属:  
(※市町村名も記入)

氏名:

保健師数(常勤): ○○人(2025年○月)※産休・育休中を含む  
(非常勤): ○○人  
保健師の配置部所数: ○部、○課、○係  
自身が関与している部所数: ○部、○課、○係

○統括保健師の役割について事務分掌への明記の有無: 有・無  
(明記されている場合、内容を記入)



【様式1】「組織見える化シート」

記入日： 年 月 日

参加ID：

所 属：  
(※市町村名も記入)

氏 名：

保健師数(常勤)：〇〇人(〇年〇月)※産休・育休中含む  
(非常勤)：〇〇人  
保健師の配置部所数：〇部、〇課、〇係  
自身が関与している部所数：〇部、〇課、〇係

〇統括保健師の役割について事務分掌への明記の有無： 有 ・ 無  
(明記されている場合、内容を記入)

【様式2】「統括保健師 課題焦点化シート」

記入日： 年 月 日

参加ID：

所 属：  
(※市町村名も記入)

氏 名：

	統括保健師としての役割・機能		
	保健活動を推進するための組織横断的な総合調整、技術的及び専門的側面からの指導・助言	人材育成に関する組織上の課題を踏まえた、保健師の計画的な人材育成やキャリア形成の推進	健康危機管理に備えた体制整備に向けた保健活動の調整
①統括保健師に期待されていること	↓	↓	↓
②上記①の実施状況（できていること、できていないことは何かを整理する）	↓	↓	↓
③上記②が起きている原因（なぜできていないのか）を明らかにする	↓	↓	↓
④統括保健師として取り組んでいきたいこと			

【様式3】「統括保健師 行動計画シート」

記入日： 年 月 日

参加ID：

所 属：  
(※市町村名も記入)

氏 名：

課題	目標 (あるべき姿)	行動計画	評価指標	実施した内容と成果 (できたこと)	促進要因

※枚数制限はございません。

公益社団法人 日本看護協会

# 自己評価シート ①事前学習前

参加ID:

所属:

氏名:

記入日: 年 月 日

1. 以下は、統括保健師が組織的に位置づけられ、その中で役割・機能を発揮するプロセスを構造化して評価項目としています。下位目標1)~16)および統括保健師として担うべき役割:10)-①から14)-②について「どのくらい達成できているか」をお考えいただき、現在のご自身の状況を6段階で自己評価してください。当ではまる数字に○を付け、その理由についてもご記入ください。

本研修の目標	下位目標 (本研修で達成すること)	達成状況		
		6段階(当ではまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)	
1. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能を他者に説明し、実践できる	1) 統括保健師の役割・機能が理解できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	2) 統括保健師の必要性が理解できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	3) 統括保健師の組織的 な位置づけを理解できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	4) 統括保健師として自組織で果たさなければならない役割・機能が認識できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	5) 統括保健師の役割・機能、位置づけ自身が果たすべき役割が他者に説明できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	6) 統括保健師として、自行政組織や保健活動の現状について説明ができる。	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義について他者に説明できる	7) 自行政組織や保健活動の現状を踏まえ、統括保健師として取り組むべき課題について説明ができる。	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
		8) 2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組みについて考えることができる。	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
		9) 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークづくりの意義が理解できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
		10) 地域全体の健康課題の明確化や保健活動の優先度を検討する体制を整えることができる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	10)-①(統括保健師として)保健師全体で自治体の健康課題を共有する機会をつくる	10)-①(統括保健師として)保健師全体で自治体の健康課題を共有する機会をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
		10)-②(統括保健師として)保健師全体で保健活動の優先度を検討し、決定する機会をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
		10)-③(統括保健師として)保健師全体で保健活動の目標を検討し、決定する機会をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
		10)-④(統括保健師として)保健師全体で保健活動の評価について共有する機会をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	11) 「地域全体の健康課題」保健活動の優先度を政策・施策化、事業化の決定ルート(ライン上)にのせるための調整を行なうことができる	11)-①(統括保健師として)組織内上層部や関係部所と健康課題や優先度、活動目標を提案する機会をつくり理解を得る	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
		11)-②(統括保健師として) 議会やマスメディア、他機関等の所属組織の外に対して健康課題や優先度、活動目標についてチャンスを見逃さずに説明する	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
11)-③(統括保健師として)優先される保健活動の財源や資源の確保に向けて調整する		5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
12) 個々の保健師の専門性を育むために、成長に合わせた適材適所への配置、今後経験すべき業務が判断できる(キャリア形成支援)	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない			
13) 計画的なジョブローテーションを含み、人材育成を推進できる	13)-①(統括保健師として)保健師の体系的な人材育成の方針を検討・作成する体制をつくる(既存のものがある場合は見直しを含む)	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	13)-②(統括保健師として)各期にある保健師の現任教育を実施する体制をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	13)-③(統括保健師として)保健師の成長を見据えて、適材適所への配置計画が立案できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	13)-④(統括保健師として)人材育成の観点から保健師のジョブローテーションを組織に提案し、理解を得る。	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		

14) 保健師の計画的な配置や採用に関与できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない  -----	
14)-①(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を根拠に基づき作成する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない  -----	
14)-②(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を人事担当部所や保健師配属部所に提案し、理解を得る	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない  -----	
15)健康危機管理に備え、平時の体制整備に向けた保健活動の調整ができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない  -----	
16)統括保健師として、保健師仲間に認められている	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない  -----	
17)組織の中で、統括保健師として認められている	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない  -----	

2. 統括保健師として活動する際のご自身の強み・弱みについて伺います。  
 上手く行うことができていること、苦手なこと、今後強化していきたいことを自由にお書きください。

【引用・参考文献】嶋野洋子、鈴木浩子、真崎直子、市町村統括保健師の役割遂行尺度の開発。日本公衆衛生雑誌 2013;60(5):273-284

## 自己評価シート ②集合研修当日

参加ID:

所属:

氏名:

記入日: 年 月 日

1. 以下は、統括保健師が組織的に位置づけられ、その中で役割・機能を発揮するプロセスを構造化して評価項目としています。下位目標1)~9)について「どのくらい達成できているか」をお考えいただき、現在のご自身の状況を6段階で自己評価してください。当てはまる数字に○を付け、その理由についてもご記入ください。

本研修の目標	下位目標 (本研修で達成すること)	達成状況	
		6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
1. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能を他者に説明し、実践できる 2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方を具体的に計画し、実践できる 3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義について他者に説明できる	1) 統括保健師の役割・機能が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	2) 統括保健師の必要性が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	3) 統括保健師の組織的な位置づけを理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	4) 統括保健師として自組織で果たさなければならない役割・機能が認識できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	5) 統括保健師の役割・機能、位置づけ、自身が果たすべき役割が他者に説明できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	6) 統括保健師として、自行政組織や保健活動の現状について説明ができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	7) 自行政組織や保健活動の現状を踏まえ、統括保健師として取り組むべき課題について説明ができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	8) 2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組みについて考えることができる。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	9) 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークづくりの意義が理解できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	

【引用・参考文献】嶋野洋子、鈴木浩子、真崎直子、市町村統括保健師の役割遂行尺度の開発。日本公衆衛生雑誌 2013;60(5):273-284

公益社団法人 日本看護協会

# 自己評価シート ③研修後:1月

参加ID:

所属:

氏名:

記入日: 年 月 日

1. 以下は、統括保健師が組織的に位置づけられ、その中で役割・機能を発揮するプロセスを構造化して評価項目としています。  
 下位目標(10)~(16)および統括保健師として担うべき役割:10)~①から14)~②について「どのくらい達成できているか」をお考えいただき、現在の  
 ご自身の状況を6段階で自己評価してください。  
 当てはまる数字に○を付け、その理由についてもご記入ください。

本研修の 目標	下位目標 (本研修を経て達成すること)	統括保健師として 担うべき役割	達成状況	
			6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
1. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能を他者に説明し、実践できる  2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向けた、統括保健師として取り組むべき方を具体的に計画し、実践できる  3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義について他者に説明できる  12) 個々の保健師の専門性を育むために、成長に合わせた適材適所への配置、今後経験すべき業務が判断できる(キャリア形成支援)  13) 計画的なジョブローテーションを含み、人材育成を推進できる  14) 保健師の計画的な配置や採用に関与できる  15) 健康危機管理に備え、平時の体制整備に向けた保健活動の調整ができる。  16) 統括保健師として、保健師仲間にも認められている  17) 組織の中で、統括保健師として認められている	10) 地域全体の健康課題の明確化や保健活動の優先度を検討する体制を整えることができる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	10)①(統括保健師として)保健師全体で自治体の健康課題を共有する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	10)②(統括保健師として)保健師全体で保健活動の優先度を検討し、決定する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	10)③(統括保健師として)保健師全体で保健活動の目標を検討し、決定する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	10)④(統括保健師として)保健師全体で保健活動の評価について共有する機会をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	11)「地域全体の健康課題」「保健活動の優先度」を政策・施策化、事業化の決定ルート(ライン上)にのせるための調整を行なうことができる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	11)①(統括保健師として)組織内上層部や関係部所と健康課題や優先度、活動目標を提案する機会をつくり、理解を得る	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	11)②(統括保健師として)議員やマスメディア、他機関等の所属組織の外に対して健康課題や優先度、活動目標についてチャンスを逃さずに説明する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	11)③(統括保健師として)優先される保健活動の財源や資源の確保に向けて調整する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	13)①(統括保健師として)保健師の体系的な人材育成の方針を検討・作成する体制をつくる(既存のものがある場合は見直しを含む)	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	13)②(統括保健師として)各期にある保健師の現任教育を実施する体制をつくる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	13)③(統括保健師として)保健師の成長を見据えて、適材適所への配置計画が立案できる	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	13)④(統括保健師として)人材育成の観点から保健師のジョブローテーションを組織に提案し、理解を得る。	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	14)①(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を根拠に基づき作成する	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		
	14)②(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を人事担当部所や保健師配属部所に提案し、理解を得る	5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない		

2. 事前学習前に記載していただいた「統括保健師として活動する際のご自身の強み・弱み」について、研修会終了後のご自身の活動を踏まえて、どのように変化しましたか。どのくらい克服されたり成長されたか、ご自身の思いも含めて、自由にお書きください。